



○U.S.-Japan High-Speed Rail (USJHSR)

- ・ USJHSRは、JR東海とともに、米国を含む海外にJR東海の高速鉄道システムを導入することを目指す米国の会社。
- ・ USJHSRとJR東海は、2009年半ばより、JR東海の新幹線高速鉄道の輸出に向けた国際的な市場調査を行ってきた。この初期調査が終了し、両社は提携して、JR東海のN700-I Bulletシステムと技術を、米国を含む国際市場に統合システムとしてマーケット展開する。
- ・ N700-Iシステムは、JR東海の高速鉄道技術の最新バージョンであり、実績のある、高速で、安全で、環境にやさしく、信頼性の高い、効率的なトータルシステムである。
- ・ USJHSRは、日本で最高の高速鉄道事業者であるJR東海と協力関係にある、NMV（ワシントンDCに本拠を置くベンチャーキャピタル・アドバイザー会社）により、2009年に設立、リチャード・ローレス前国防次官補が、社長兼CEOを務めている。
- ・ USJHSRは、JR東海の世界レベルの技術を米国含めた海外市場に販売促進する独占的権利を有している。

【代表者略歴】

○リチャード・ローレス氏

前米国国防省アジア太平洋担当国防次官補

1972～87 米中央情報局(CIA) 極東アジア・欧州地域担当

1982～02 創設者／会長／CEO U. S. Asia Commercial Development Cooperation

2002～07 米国国防省アジア太平洋担当国防次官補

2008～ 創設者／会長／社長 New Magellan Ventures

2009～ 社長兼CEO U. S. -Japan High-Speed RAIL



○U.S.-Japan MAGLEV (USJ MAGLEV)

- ・ USJ MAGLEVは、JR東海とともに、世界最速の鉄道であるJR東海の超電導リニア（SCMAGLEV）を、米国を含む海外に導入を目指す米国の会社。
- ・ USJ MAGLEVとJR東海は、2009年半ばより、JR東海の超電導リニアシステムの輸出に向けた国際的な市場調査を行ってきた。この初期調査が終了し、2つの会社は提携し、超電導リニアシステムと技術を、米国を含む国際市場に統合システムとしてマーケット展開する。
- ・ 超電導リニアシステムは、500km/hを超える速度での走行能力を持ち、世界で最も技術的に進んだ高速鉄道で、高速性、環境優位性、安全性、信頼性を持った効率的なトータルシステムである。
- ・ JR東海とUSJ MAGLEVは、超電導高速鉄道システムの他に、超電導リニアシステムのコア技術を交通、医療、科学など他の技術用途へも展開を考えている。
- ・ USJ MAGLEVは、日本で最高の高速鉄道事業者であるJR東海と協力関係にある、NMV（ワシントンDCに本拠を置くベンチャーキャピタル・アドバイザー会社）により、2009年に設立、リチャード・ローレス前国防次官補がCEOを務め、トーケル・パターソン前米国国家安全保障会議部長が社長を務める。
- ・ USJ MAGLEVは、JR東海の世界レベルの技術を米国含めた海外市場に販売促進する独占的権利を有している。

【代表者略歴】

○トーケル・パターソン氏

- 1976～94 米国海軍
- 1988～91 米国国防総省 国防長官室 日本上級部長
- 1991～93 米国大統領府 国家安全保障会議日韓部長
- 1994～98 戦略国際問題研究所(CSIS) パシフィック・フォーラム シニア・アソシエイト、CSIS パシフィック・グループ会長
- 1998～00 Raytheon Japan 社長
- 2001～05 大統領特別補佐官（アジア担当）、駐日大使上級顧問、南アジア次官補
- 2005～ 戦略国際問題研究所(CSIS) パシフィック・フォーラム理事
- 2005～09 Raytheon International 社 社長、Raytheon 社 副社長（国際ビジネス開発）
- 2009～ U.S.-Japan MAGLEV 社 社長